



大阪公立大学の研究者の世界

第12回

ACADEMIC CAFE

2024 12.24 Tue

申込不要

13:00～15:00 ハイブリッド開催

参加方法:対面・・・杉本C学術情報総合センター1階文化交流室
遠隔・・・ZOOMウェビナーより

※URL・パスコードはOMUポータル及び学生ポータル(UNIPA)に掲載します

テーマ AIと人の協働

Episode1. AIを活用する有機半導体研究の最先端



池田 浩
工学研究科 教授

物質科学の発展においてAI、特に機械学習やシミュレーションを用いたマテリアルズ・インフォマティクス(MI)の必要性は言うまでもない。本カフェでは、AI初心者である有機化学者が学内外(※)の協力を得て行なった機械学習支援による有機半導体の開発研究を紹介する。AIの発達で「人が要らなくなる」とも思われがちだが、その途上では以前にもまして「人が必要」な研究現場の現状と、今後の課題を語りたい。(※学内:分子エレクトロニックデバイス研究所、学外:科研費「デジタル有機合成」)

Episode2. AIを用いた古文書解読の最前線



向井 伸哉
文学研究科 准教授

近年、歴史学(西洋中世史)の分野にも、デジタル技術が急速に浸透してきている。AIを用いて手書きの古文書を瞬時に文字起こしするHTR(Handwritten Text Recognition)の研究開発が、史学・工学の分野をまたいで推進されているのである。本報告では、HTRの代表的アプリであるTranskribusとその技術を利用したHimanisプロジェクト(80000ページを超える中世フランス国王文書のデジタル化計画)を紹介しつつ、文理融合の最先端の現場をレポートする。

■プログラム

13:00 開会の挨拶

池田 一雄 副学長

13:05 イントロダクション

大塚 浩二 特任教授

13:10 講演

池田 浩 教授

13:50 講演

向井 伸哉 准教授

14:35 座談会

大塚 浩二 特任教授

池田 浩 教授

向井 伸哉 准教授



ファシリテーター
大塚 浩二
特任教授(学術URA)



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

お問い合わせ

事務局学術研究支援部研究推進課
TEL:06-6605-3466

All religions, arts and sciences are branches of the same tree. Albert Einstein

われわれは、すべてのものを包括する統一
的な知識を求めようとする熱望を、先祖代々
承け継いできました。学問の最高の殿堂に
与えられた総合大学(university)の名
は、古代から幾世紀もの時代を通じて、総
合的な姿こそ、十全の信頼を与えられるべ
き唯一のものであったことを、われわれの心
に銘記させます。しかし、過ぎる100余年の
間に、学問の多種多様の分枝は、その広さ
においても、またその深さにおいてもすま
ず拡がり、われわれは奇妙な矛盾に直面す
るに至りました。われわれは、今までに知ら
れてきたことの総和を結び合わせて一つの
全一的なものにするに足る信頼できる素
材が、今ようやく獲得されはじめたばかりで
あることを、はっきりと感じます。ところが一
方では、ただ一人の人間の頭脳が、学問全
体の中の一つの小さな専門領域以上のもの
を十分に支配することは、ほとんど不可能
に近くなってしまったのです。

この矛盾を切り抜けるには(われわれの真
の目的が永久に失われてしまわないように
するためには)、われわれの中の誰かが、
諸々の事実や理論を総合する事に思い
きつて手を着けるより他には道がないと思
います。

シュレーディンガー、岡小天、鎮目恭夫 訳、
「生命とは何かー物理的にみた生細胞」

まえがきより抜粋

知の
SEEDS
大阪公立大学